

令和4年白河 提灯まつり

9月17日(土)～18日(日)



【提灯行列のご案内】～規模縮小開催について～

鹿嶋神社のみの行列です。出発時間は、午後7時。所要時間は、1時間30分を予定しています。

- ・開催は2日間。
- ・神輿は、鹿嶋神社神輿のみの行列。
(例年23町参加で、21基の神輿が渡御しますが、今回は、鹿嶋神社の神輿を複数町の壮者が担ぎます。)

17日

鹿嶋神社の神輿を複数町の壮者が担ぎます。天神町白河郵便局から桜町御旅所まで。

18日

鹿嶋神社の神輿を複数町の壮者が担ぎます。向寺から桜町御旅所まで。

※新型コロナウイルス感染状況により、提灯まつりが開催されない場合があります。

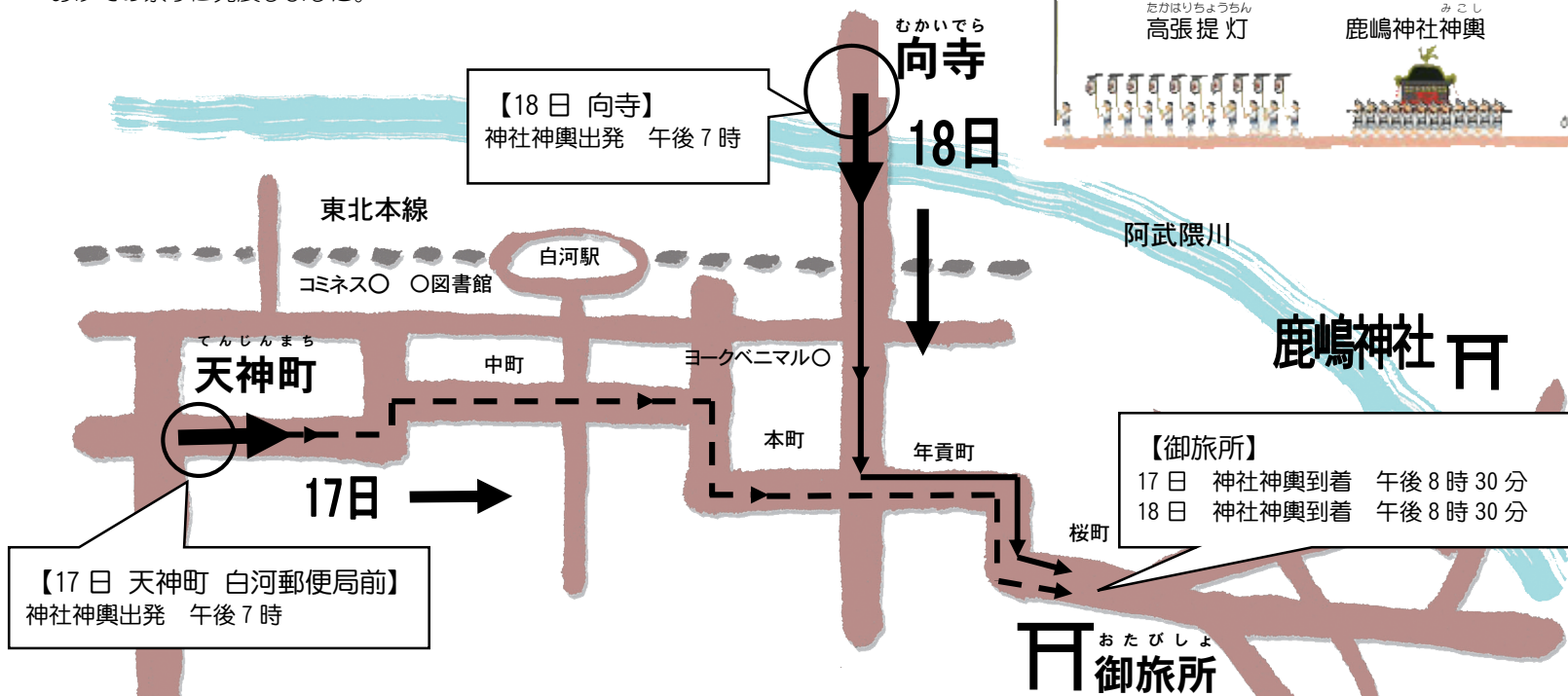
※昼間の町内渡御は、予定通り行われます。お旗場では、祝詞奏上とお神楽の奉納が行われます。
ご覧いただく場合は、感染対策を行った上でおいでください。

～白河提灯まつりのいわれ～

日本三大提灯まつり(白河・弥彦・一色)の一つに数えられている白河提灯まつりは、白河地方の総鎮守として、古くから人々の尊崇を集めてきた鹿嶋神社の例祭として、四世紀に渡り隆盛を極め、白河の人々の精神文化の歴史、いわば心のよりどころとして、伝えられてきました。現在行われている神輿の町内渡御・提灯行列・屋台・山車の引き廻し等の祭りの形態は、徳川家綱時代、明暦3年(1657年)に藩主本多能登守忠義が神輿を寄進したことにより成立し、祭礼の型も幕府の許可を得て、別名【儀式まつり】といわれる程武家社会の格式を導入した独特の祭りで、伝統の文化として白河の地に受け継がれています。現在は、参加町も23町と当初に倍する数となり老若男女、市民をあげての祭りに発展しました。

令和元年は居祭礼、令和2年・3年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止を余儀なくされていた「白河提灯まつり」が戻ってきます。ウィズコロナでの開催ということもあり、例年の形式ではなく、原点に立ち戻り「鹿嶋神社神輿」のみの行列となります。23町の壮者・元方が一同に会し、勇壮な行列が練り歩く姿をご覧ください。

【鹿嶋神社神輿の提灯行列図】



【御旅所】

17日 神社神輿到着 午後8時30分
18日 神社神輿到着 午後8時30分

- 17日行列経路(天神町～御旅所)
- 18日行列経路(向寺～御旅所)
- ※ 時間は予定時刻です

<http://www.kashimajinja.jp>

祭典・日程・進行順路についての問合せは、鹿嶋神社 TEL0248-23-3079

パワースポット！

～あなたも触れて感じてみませんか～

暑い夏も終わり、過ごしやすい季節になりました。ぜひ、神社にお参りになり、神様と自然の力をいただいでください。

磐座(いわくら)：神社のご神体山(甕の森：みかのもり)には、古代からの祭祀が行われ聖地と云われる大岩があります。

ご神木(ごしんぼく)：本殿西側に樹齢1,000年と云われている杉の大木があります。古来、岩や樹木には神霊が宿ると云われています。



磐座(いわくら)



ご神木

—— ポップアップ御朱印のご案内 ——

御朱印用紙を開くと鹿嶋神社の神橋がポップアップするように宮司が作りました。神橋の由緒も入った鹿嶋神社独特の御朱印です。是非お求めください。



初穂料 1,000 円

